

マニフェスト				令和2年度の取り組み	令和3年度の取り組み	令和4年度の取り組み	令和1年度から令和4年度までの対応(予定)状況					点数	担当部局		
NO	挑戦分野	宣言	該当事業				令和1年度(すぐ) (1年以内)	令和2年度(2年以内)	令和3年度(3年以内)	令和4年度(4年以内)	令和1年度(すぐ) (1年以内)			令和2年度(2年以内)	令和3年度(3年以内)
14	安心・安全のまちづくり	地域防災力を向上させます	防災啓発及び研修事業	コロナウイルス感染症を加えた避難所運営を視野に、縮小した形ではあるが地域連携避難訓練を実施。自主防災組織立ち上げの支援策とした、防災士育成のための補助制度を創設した。	地域連携避難訓練の中心に安否確認訓練を据え、地域の共助の充実を目指す。また、コロナ禍においても、安全な避難所運営が進むよう、資機材等を充実させていく。	地域連携避難訓練にて安否確認訓練を令和3年度より拡大して行い、更なる地域の共助の充実を目指した。また、避難所ごとの連絡会議において、各避難所の避難所運営マニュアルの拡充を進め、円滑な避難所運営を目指すとともに防災意識の向上に努めた。自主防災組織立ち上げについて啓発、支援を行い、新たな自主防災組織の設立に努めた。町民に対し、更なる防災意識の向上を図るため、一般対象及び防災リーダー対象に防災講座を各々開催した。	従来からの継続事業							4	自治安心課
							研究段階								
							検討段階								
							実施								
							終了								
							具体的取り組み	防災フェア及び防災士育成検討	避難訓練及び防災士育成事業実施	避難訓練及び防災士育成事業実施	避難訓練及び防災士育成事業実施				
							事業費(千円)	1445千円	1957千円	1912千円	1843千円				
15	安心・安全のまちづくり	遠隔自治体と災害時相互応援協定を進めます	防災事務事業	観光等、他の分野で進められている県外自治体との交流等を参考に、災害時連携に適した自治体について調査を実施し、情報交流を図った。	昨年度から検討している県外自治体との災害協定について情報交流を図り、有効な災害協定の締結を実施する。また、既存の災害協定締結市町村との連携を強めていく。	新たな遠隔自治体との災害協定締結に向け、情報収集・検討を行う。また、既存の災害協定締結市町村との連携を強めていく。	従来からの継続事業						5	自治安心課	
							研究段階								
							検討段階								
							実施								
							終了								
							具体的取り組み	災害協定締結	調査及び協定市町村との情報交換	災害協定締結	調査及び協定市町村との情報交換				
							事業費(千円)	0千円	68千円	68千円	75千円				
16	安心・安全のまちづくり	安心安全の都市基盤整備を進めます	道路改良事業	(令和元年度からの継続事業) 国道254号(町道幹線16号線交差点部)交差点内拡幅整備 町道幹線21号線 舗装構造強化を含めた歩車道整備 (令和2年度事業) 町道幹線22号線 都市計画道路用地敷整備 町道幹線14号線 舗装構造強化を含めた道路拡幅整備 町道上富192号線 道路冠水改善のための側溝整備 町道幹線5号線・藤久保6号線・藤久保09号線 道路後退用地整備 町道幹線7号線 都市計画道路用地敷整備 町道上富11号線・藤久保356号線 雨水処理施設(浸透樹)整備	(令和2年度からの継続事業) 町道幹線5号線 道路拡幅による歩道整備 町道幹線12・13号線 県道交差点隅切部拡幅整備 (令和3年度事業) 町道幹線3号線 排水構造物(U型側溝)整備 町道幹線14号線 舗装構造強化を含めた車道整備 町道幹線21号線 舗装構造強化を含めた歩車道整備 町道幹線20号線 道路後退用地敷整備 町道幹線7号線 都市計画道路用地敷整備	(令和4年度事業) 町道幹線14号線 舗装構造強化を含めた車道整備 町道幹線21号線 舗装構造強化を含めた歩車道整備 町道幹線7号線 都市計画道路用地敷整備 町道幹線16号線 道路拡幅による歩道整備 町道幹線20号線 道路拡幅用地敷整備 町道北永井36号線 薬液注入による地盤改良工事 町道幹線14号線・藤久保31号線・北永井101号線 町道幹線47号線・竹間沢94号線・竹間沢130号線 雨水集水を目的とした排水構造物工事	従来からの継続事業						5	道路交通課	
							研究段階								
							検討段階								
							実施								
							終了								
							具体的取り組み	道路改良、整備事業実施	道路改良、整備事業実施	道路改良、整備事業実施	道路改良、整備事業実施				
							事業費(千円)	163691千円	179711千円	128330千円	133651千円				
				北松原土地区画整理事業	精算金徴収交付事務を実施した。町道藤久保330号線の取付管布設替工事及び舗装本復旧工事を実施した。竣工記念碑を建立し除幕式を実施し、記念誌の発行を行った。組合解散認可申請を行い解散認可をうけ清算事務に移行した。	精算金徴収交付事務を実施した。決算認可申請を行い、令和3年度内に清算事務の完了。		従来からの継続事業					5	都市計画課	
								研究段階							
								検討段階							
								実施							
								終了							
								具体的取り組み	換地処分に基づく登記事務及び清算、事務の実施・町道幹線16号線舗装本復旧工事	精算金徴収交付事務を実施・解散認可申請書作成・記念碑、記念誌作成	精算金徴収交付事務を実施・決算認可申請書作成				
								事業費(千円)	18243千円	0	0				

マニフェスト				令和2年度の取り組み	令和3年度の取り組み	令和4年度の取り組み	令和1年度から令和4年度までの対応(予定)状況					点数	担当部局	
NO	挑戦分野	宣言	該当事業				令和1年度(すぐ)	令和1年度(1年以内)	令和2年度(2年以内)	令和3年度(3年以内)	令和4年度(4年以内)			
17	安心・安全のまちづくり	空き家対策条例を制定します	防犯活動推進事業	コロナ禍において空家現況調査の2調査が予定より遅れたところであるが、年度内に空家協議会を開催し、空家現況調査結果の考察及び空家対策の計画策定に着手した。	(仮称)三芳町空家等対策計画を策定し、空家対策を推進していく。	/	従来からの継続事業							
							研究段階							
							検討段階							
							実施							
							終了							
							具体的取り組み	空家現況調査実施	空家協議会アンケート実施	空家対策計画策定	空家の適正管理の推進			
							事業費(千円)	215千円	86千円	53千円	59千円			
18	安心・安全のまちづくり	公共交通政策を推進します	地域交通改善対策事業	公共交通補助事業及び高齢者運転免許自主返納支援制度の対象年齢を引き下げ、高齢者の公共交通機関の利用促進及び運転免許書の自主返納促進に努めた。また、新たな公共交通システムの構築に向けて、MaaS実証実験を実施した。	路線バス再編に伴う新路線を開通した(7番線休止、8番線運行開始)。新たな公共交通システム構築に向けて、MaaS実証実験期間を延長し、その結果を元に研究・検討を行う。	/	従来からの継続事業							
							研究段階							
							検討段階							
							実施							
							終了							
							具体的取り組み	路線バス補助路線の再編等	公共交通補助事業の対象年齢拡大等	持続可能な新たな公共交通システムの検討等	持続可能な新たな公共交通システムの事業化等			
							事業費(千円)	30785千円	35460千円	35460千円	35460千円			
19	安心・安全のまちづくり	自然の森、総合スポーツ公園等の整備をします	公園等施設管理事業 公園等施設整備事業 自然の森・総合スポーツ公園整備事業 令和の森(せせらぎ水辺広場)整備事業	自然の森・総合スポーツ公園の用地を継続して借上げ、維持管理を行った。 令和の森公園せせらぎ水辺広場築造工事を実施。	自然の森・総合スポーツ公園の用地を継続して借上げ、維持管理を行う。 令和の森公園せせらぎ水辺広場パーゴラ等設置工事を実施する。	/	従来からの継続事業							
							研究段階							
							検討段階							
							実施							
							終了							
							具体的取り組み	公園維持管理、公園等修繕、令和の森公園整備設計業務委託	公園用地借上げ、公園維持管理、施設修繕工事、令和の森公園せせらぎ水辺広場築造工事	公園用地借上げ、公園維持管理、施設修繕工事、令和の森公園せせらぎ水辺広場パーゴラ等設置工事	公園用地借上げ、公園維持管理、施設修繕工事			
							事業費(千円)	82177千円	78418千円	39534千円	87,448千円			
19	安心・安全のまちづくり	自然の森、総合スポーツ公園等の整備をします	緑のトラスト保全第14号地活用事業	トラスト地を活用した子ども向けの「みよし自然体験教室」を開催し、自然観察会やクラフト体験を通してトラスト地への理解と環境教育を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、感染予防の観点から、やむなく開催中止とした。 一方で、大規模発生したナラ枯れ被害に対して、追加事業により速やかに対処するなど、保全に向けて万全を期した。	町の象徴となる最大のみどり資源として、良好な状態に保全する。そのための維持管理は協働を基調とし、ボランティアなど担い手の育成・拡充を図る。また、環境教育や自然活動の拠点として活用するものとし、令和元年度実施の「みよし自然体験教室」を定着させつつ、事業・イベントの拡充を図る。	/	従来からの継続事業							
							研究段階							
							検討段階							
							実施							
							終了							
							具体的取り組み	みよし自然体験教室	みよし自然体験教室(新型コロナウイルスにより中止)	みよし自然体験教室(新型コロナウイルスにより中止)	みよし自然体験教室(新型コロナウイルスにより中止)			
							事業費(千円)	73千円	0千円	0千円	0千円			